

直売向けスイートコーンのトンネル早熟作型の品質改善技術の開発

【背景と目的】

スイートコーンは収穫後鮮度が落ちやすいため、収穫してすぐに販売できる直売所で有利な品目である。栽培面積は減少傾向にあるものの、一部地域ではスイートコーンの栽培に取り組む意欲がある生産者がいる。また、トンネル被覆によって出荷期を早めることで単価が高い時期に販売することが可能となる品目である。しかし、トンネル早熟作型を行った場合、雌穂が小さく、品質、収量ともに不十分となるという情報が普及センターより挙げられた。2月下旬までに定植する場合移植栽培が基本になるが、定植時の苗の葉数の違いや、根鉢の形成程度の違いによる生育の影響について詳細に調べられた例はない。そこで本課題では、トンネル早熟作型に適する安定生産技術を明らかにし、5月に収穫可能とすることを目的とする。合わせて、作型に合った品種を選定する。収量（穂重）を高めるための栽培技術を明らかにする。

【研究概要】

（1）苗質と生育・雌穂品質との関係把握

- ①定植苗の葉数の違いが雌穂品質に及ぼす影響
- ②苗の根鉢の形成程度の違いによる生育の影響

（2）品種比較

トンネル早熟栽培に適する品種を選定

（3）定植時および定植後の管理方法と生育・雌穂性質との関係把握

- ①定植方法（深度・孔の大きさ）
- ②被覆方法（保温性・作業性・コスト）